

【】 資源と工業

【】 各資源の輸入先

[問題]

右図は、わが国の石油輸入先の割合(2013年)を示している。次の各問いに答えよ。

- (1) Xの国名を書け。
- (2) 資料中の5か国が共通に面している湾の名前を書け。

(富山県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) サウジアラビア (2) ペルシヤ湾

[解説]

世界の石油埋蔵量の2/3は、ペルシヤ湾沿岸を中心とする西アジアに集中している。また、石油の生産量・輸出量ともにペルシヤ湾沿岸の産油国が大きな割合を占めている。



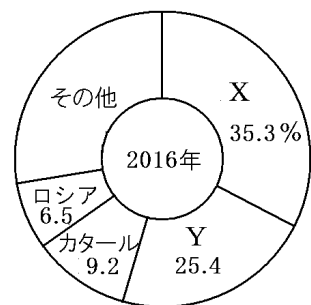
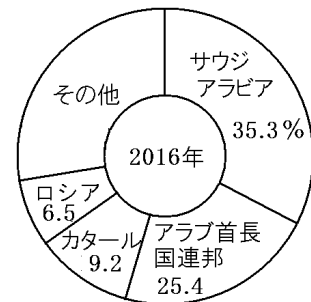
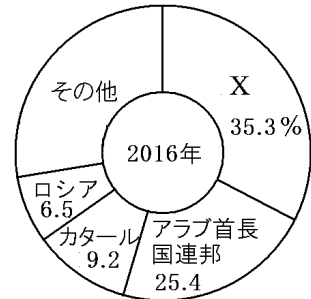
日本の石油輸入の約8割はペルシヤ湾沿岸の国々からである。その中でも多いのが、サウジアラビアとアラブ首長国連邦である。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」P295

[問題]

右のグラフは、わが国の主な石油輸入相手国とその割合を示そうとしたものである。グラフ中のX、Yにあてはまる国の正しい組み合わせは、次のア～エのうちのどれか。1つ選んで、その記号を書け。

- ア X インドネシア Y マレーシア
- イ X オーストラリア Y ブラジル
- ウ X カナダ Y アメリカ合衆国
- エ X サウジアラビア Y アラブ首長国連邦



(香川県)

[解答欄]

[解答]エ

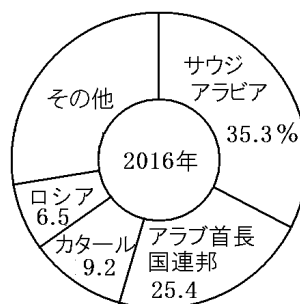
[問題]

右のグラフは、日本が輸入しているある資源の輸入先を示したものであるが、その資源は何か。

(島根県)

[解答欄]

[解答]石油



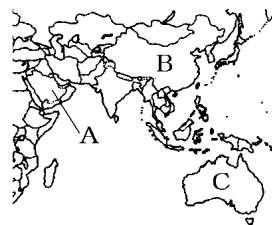
[問題]

石油の日本への輸出が最も多い国を A～C から選べ。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]A



[問題]

次の文は、わが国が輸入している主要なエネルギー資源と、その積出港がある地域について述べたものである。この文が述べている地域にある積出港として最も適当なものを、次の略地図中のア～エのうちから 1 つ選び、その記号を書け。

わが国のこの資源の自給率は、きわめて低く、ほとんどを輸入に依存している。また、輸入量のおよそ 75%をこの地域の国々から輸入している。この地域の海にそそぐ河川の流域には、かつてメソポタミア文明が栄えていた。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]ウ



[問題]

石油価格の値上がりに関連して、その原因や影響の説明として適当でないものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

- ア 石油輸出国の政情が不安定になれば、石油価格は上昇しやすくなる。
- イ 新興工業国の石油の需要増加は、石油価格上昇の一因と考えられる。
- ウ 今日の地域紛争の多くは、石油価格の値上がりを背景に発生している。
- エ 石油価格の値上がりは、ガソリンや灯油の価格高騰につながりやすい。

(島根県)

[解答欄]

[解答]ウ

[問題]

右図はある鉱産資源の主な輸入先を示している。この鉱産資源は、火力発電や鉄鋼の生産などに使用されており、そのほとんどを輸入している。この鉱産資源は何か。

(山形県)

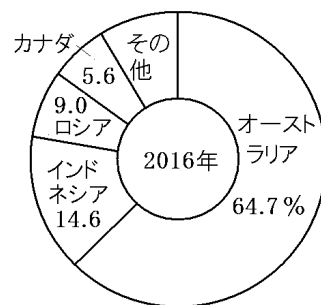
[解答欄]

[解答]石炭

[解説]

日本は石炭のほぼ100%を輸入に頼っているが、輸入の約6割はオーストラリアからである。鉄鉱石てつこうせきの輸入も約5割はオーストラリアからである。オーストラリアの東部では石炭が、西部では鉄鉱石が産出されている。

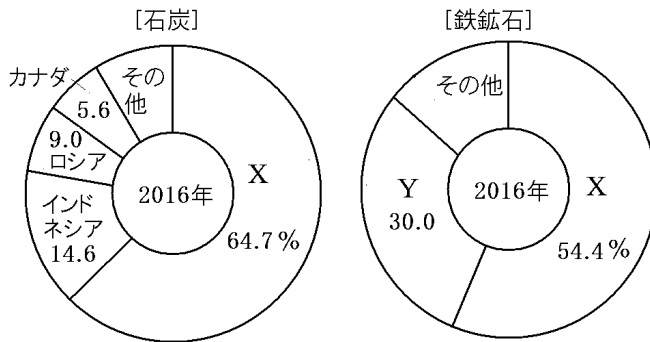
(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」P295



[問題]

下のグラフ中の X, Y の国名を次から選んで答えよ。

[ブラジル オーストラリア インド]



(補充問題)

[解答欄]

X	Y
---	---

[解答] X オーストラリア Y ブラジル

[解説]

鉄鉱石・石炭ともに日本の輸入先の第1位はオーストラリアであるので、Xがオーストラリアであることはすぐにわかる。鉄鉱石の輸入相手先の第2位は、鉄鉱石産出量が世界1であるブラジルであるので、Yはブラジルと判断できる。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P295

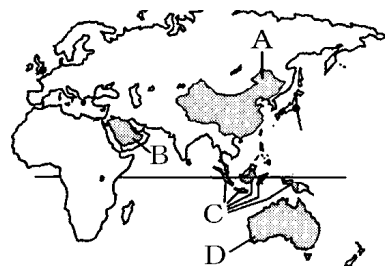
[問題]

日本が石炭を最も多く輸入している国を、地図の A~D から1つ選び、その符号と国名を書け。

(石川県)

[解答欄]

[解答] D, オーストラリア



[問題]

次の表は、石炭、石油、天然ガスのいずれかの品目について、日本が輸入している国別割合(2016年)の上位4~5か国をそれぞれ表したものである。X、Y、Zにあてはまる品目を書け。

X		Y		Z	
サウジアラビア	35.3%	オーストラリア	64.7	オーストラリア	28.0%
アラブ首長国連邦	25.4	インドネシア	14.6	マレーシア	18.1
カタール	9.2	ロシア	9.0	カタール	13.2
ロシア	6.5	カナダ	5.6	インドネシア	8.6
その他	23.6	その他	6.1	ロシア	8.3
計	100.0		100.0		100.0

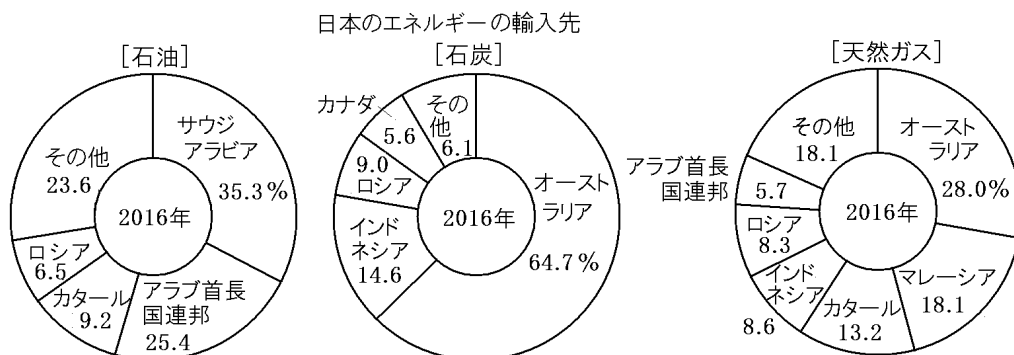
(和歌山県)

[解答欄]

X	Y	Z
---	---	---

[解答]X 石油 Y 石炭 Z 天然ガス

[解説]



(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P295

[問題]

右の資料に示した日本の輸入資源は何か。

次から1つ選べ。

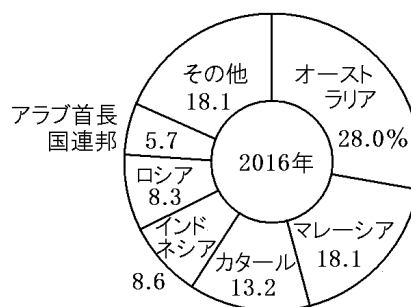
[天然ガス 石油 鉄鉱石 ウラン]

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]天然ガス

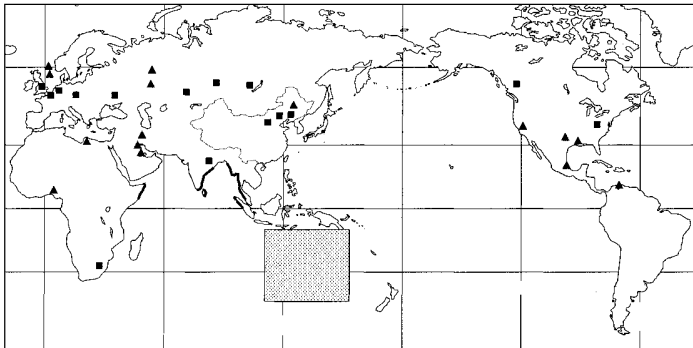
(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P295



[問題]

鉱産資源▲、■について、略地図の分布とグラフ
 (日本の主な輸入先)を見て、その組み合わせとして
 最も適当なものをア～エの中から選べ。

- ア ▲石炭 ■石油 イ ▲石油 ■鉄鉱石
 ウ ▲鉄鉱石 ■石炭 エ ▲石油 ■石炭

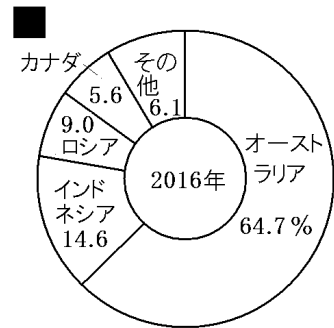
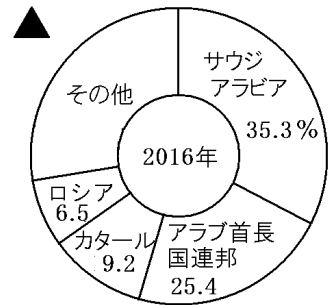


(鹿児島県)

[解答欄]

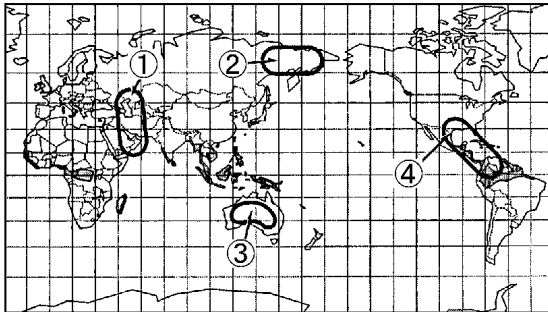
[解答]エ

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P295



[問題]

略地図中に①～④で示した地域のうち、石油が集中して分布している地域はどこか。
2つ選んで、その記号を書け。



(香川県)

[解答欄]

[解答]①と④

[解説]

④の区域にはメキシコ、ベネズエラ、ブラジルという3つの産油国が入っている。

[問題]

ブラジルでは、さとうきびから作られたバイオエタノールを、ガソリンに混ぜたり、ガソリンの代わりに使ったりしている。バイオエタノールは、大気中の二酸化炭素の増加を抑制することができる燃料として期待されている。そのほかに、バイオエタノールには石油と比べてどのような利点があるか、下の資料からわかることを含めて書け。

世界の石油生産量(2016年)	45.3 億 kL
世界の石油の確認埋蔵量(2016年)	2616.9 億 kL

(石川県)

[解答欄]

[解答]石油は限りある資源であるが、バイオエタノールはさとうきびを栽培することによって新たに作るができる。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P116

[問題]

石油の自給率の算出方法として最も適切なものを選び，記号を書け。

ア 消費量÷輸入量×100 イ 輸入量÷産出量×100

ウ 輸入量÷消費量×100 エ 産出量÷消費量×100

(富山県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

日本近海に大量に存在するとされる資源で，天然ガスの一種であるメタンガスが水と結合して氷状になった鉱産資源を何というか。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]メタンハイドレート

【】 電力

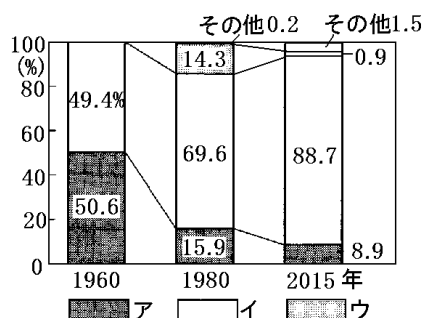
[問題]

資料中のア～ウが示す発電は、それぞれ、火力発電、水力発電、原子力発電のうちのどれか。

(福岡県)

[解答欄]

ア	イ
ウ	




[解答]ア 水力発電 イ 火力発電 ウ 原子力発電

[解説]

戦後すぐのころは、山がちで水資源の多いわが国の特色を生かした水力発電(図のア)が主力であった。しかし、水力発電のためのダムを建設できる場所には限りがあるため、その後、中東からの安価な石油を利用した火力発電(図のイ)が主力になった。1966年に、最初の原子力発電所が茨城県東海村に建設されたが、原子力発電(図のウ)が大きく伸びるきっかけになったのは、70年代初めにおきた石油危機で石油価格が高騰したことである。しかし、2011年3月におきた東日本大震災にともなう東京電力福島第一原子力発電所の事故により、原子力発電所の安全性について深刻な疑問が生じている。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P124

[問題]

資料の  の部分の発電方法として正しいものを、次から1つ選んで書け。

[火力 原子力 地熱 太陽光 水力]

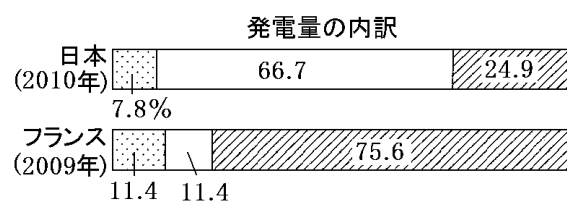
(福井県)

[解答欄]

[解答]原子力

[解説]

フランスは原子力発電の割合が約7割以上と非常に高いのが特徴。入試問題にもよく出題される。(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」 P132, 137



[問題]

エネルギーの供給は、その国の政策や生産する資源によって違いがある。次の表は、アメリカ、ブラジル、フランス、日本の発電電力量の内訳(2013年)である。ブラジルに当てはまるものを次のア～エより1つ選び、記号で答えよ。

	火力発電	原子力発電	水力発電	その他
ア	90.5	0.9	7.8	0.8
イ	9.0	74.0	13.2	3.8
ウ	69.3	19.1	6.7	4.9
エ	27.7	2.6	68.6	1.1

(沖縄県)

[解答欄]

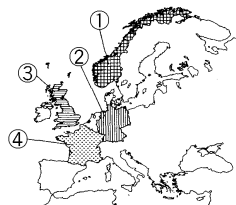
[解答]エ

[解説]

各国の発電形式でよく出題されるのはフランスである。フランスは、国の政策として原子力発電に力を入れ、発電量の7割以上を原子力発電にたよっている。したがって、イがフランスと判断できる。ブラジルはアマゾン川を利用した水力発電が中心である。したがって、エがブラジルである。アは日本で、ウはアメリカである。

[問題]

次の表は、右図で示した①～④の国の発電量の内訳を比較したものである。A～Cに当たる発電方法を次の[]からそれぞれ選べ。



[水力発電 火力発電 原子力発電]

国	A(億 kWh)	B(億 kWh)	C(億 kWh)	D(億 kWh)
①	1290	32	—	19
②	288	4225	973	828
③	76	2505	706	304
④	756	514	4237	207

(熊本県)

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A 水力発電 B 火力発電 C 原子力発電

[解説]

まず、注目すべきは④のフランスである。フランスは、国の政策として原子力発電に力を入れ、発電量の7割以上を原子力発電にたよっている。したがって、Cが原子力発電を表していると判断できる。次に注目すべきは、①のノルウェーである。水資源が豊富なノルウェーは水力発電が中心なので、Aが水力発電を表していると判断できる。

[問題]

地図中の▲印の都市の主な発電所において、共通にみられる発電方法は何だと考えられるか。次から選べ。



[水力発電 地熱発電 原子力発電 火力発電]

(広島県)

[解答欄]

[解答]火力発電

[解説]

わが国の火力発電所は太平洋ベルトの海岸部に集中している。燃料の石油・天然ガス等の輸入に便利で、しかも、大工業地帯や大都市といった消費地に近いという利点があるからである。

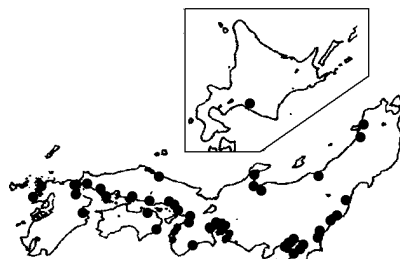
[問題]

右図の●は、日本国内の主な火力発電所の位置を示したものである。分布の特徴を次の語句を使って説明せよ。

[電力 需要 輸入]

(富山県)

[解答欄]

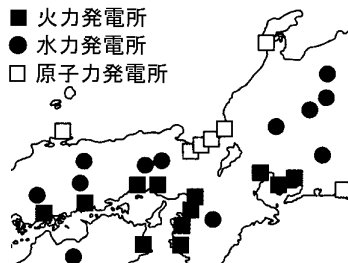


[解答]石油や石炭等の燃料の輸入がしやすく、電力需要の多い工業地域や大都市の臨海部に立地している。

[問題]

図は主な火力発電所、水力発電所、原子力発電所の位置を示したものである。水力発電所の位置の特徴について、簡潔に書け。

(茨城県)



[解答欄]

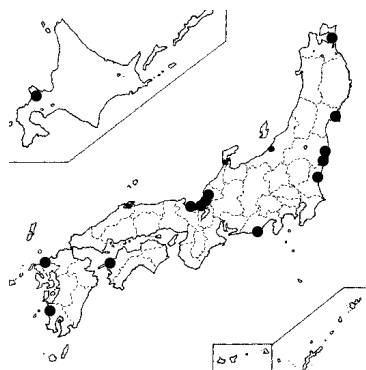
[解答]山地に位置している。

[問題]

地図中の●は、水力発電所、火力発電所、原子力発電所のいずれかの分布のようすを示したものである。●は、どの発電所の分布のようすを示したのか。

(補充問題)

[解答欄]



[解答]原子力発電所

[解説]

1966年に、最初の原子力発電所が茨城県東海村に建設された。原子力発電所が建設されている地域は、若狭湾沿岸など、大量の冷却水(海水)を得やすく、かつ地盤が固い海岸の近くである。原子力発電所が多いのは、福井県若狭湾沿岸、福島県太平洋岸、新潟県日本海岸である。



[問題]

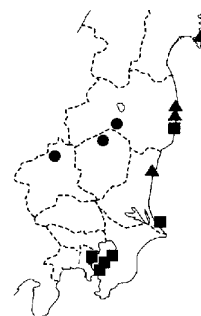
●, ▲, ■は火力、水力、原子力発電所のいずれかを示している。それぞれどの発電所を示しているか。

(青森県)

[解答欄]

● :	▲ :	■ :
-----	-----	-----

[解答]● : 水力発電所 ▲ : 原子力発電所 ■ : 火力発電所



[問題]

原子力発電所について正しく説明したものを、次のア～エの中から1つ選び、記号を書け。

- ア この発電所は、多量の水を必要とするために山間部につくられている。
- イ この発電所は、大気汚染が問題になっているが、大都市付近につくられている。
- ウ この発電所は、地震からの被害を防ぐために岩盤が固い臨海部につくられている。
- エ この発電所は、年間を通して安定した風の力が得られる場所につくられている。

(佐賀県)

[解答欄]

--

[解答]ウ

[問題]

石油にかわるエネルギーとして、さまざまなエネルギーが開発され利用されている。その中で、風力、太陽光などの自然エネルギーの長所と短所を、それぞれ簡潔に書け。

(岐阜県)

[解答欄]

長所：
短所：

[解答]長所：枯渇することがなく環境を汚染する心配も少ない。 短所：自然条件に左右されやすく費用もかかる。

[解説]

現在のエネルギー源の中心は、石油・石炭・天然ガスなどの化石燃料^{かせきちかりょう}、それと原子力発電のウランであるが、いずれも、数十年のうちに枯渇すると予想されている。風力発電・太陽光発電・地熱発電・波力発電など自然エネルギーを利用した発電の場合、資源が枯渇することはない。しかも、石油などの化石燃料のように、地球温暖化をもたらす二酸化炭素を発生させることもない。しかし、自然条件に左右されるため出力が不安定で、設備費用が大きいと、従来のエネルギーに取って代わることは期待できない。

化石燃料等にかわるエネルギーとして近年注目を集めているのは、バイオマスである。石油資源の減少と石油価格の高騰^{たかたげ}により、とうもろこしやサトウキビなどを原料とするバイオエタノールの需要が増大している。例えば、とうもろこしを大量に栽培しているブラジルでは、バイオエタノールの生産が増加しており、バイオエタノールで走る自動車も普及してきている。

[問題]

現在、日本では、従来のエネルギーによる発電にかわるものとして、太陽光や風力などの自然のエネルギーを利用した発電の開発が進められており、その普及が期待されている。太陽光や風力などの自然のエネルギーを利用した発電の利点を、実用化を進める上での課題とあわせて、簡単に書け。

(静岡県)

[解答欄]

--

[解答]自然条件に左右されやすく費用もかかるが、枯渇することがなく環境を汚染する心配も少ない。

[問題]

化石燃料を用いた発電と比較したときの、太陽光発電の利点を、「排出」ということばを使い、簡単に書け。

(北海道)

[解答欄]

--

[解答]太陽光発電では、二酸化炭素が排出されない。

[問題]

次の各問いに答えよ。

(1) 右の写真は島根県内に設置されている発電施設である。

これは何の力を利用して発電しているか。

(2) 写真のように、燃料となる資源の枯渇の心配が少ない発電方法として適当でないものを、次から1つ選べ。

[波力発電 火力発電 太陽光発電 地熱発電]



(島根県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 風力 (2) 火力発電

[問題]

現在、太陽光や風力などの自然エネルギーを利用した新しい発電の方法には、どのような課題があるか。最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 放射性廃棄物の処理・処分が難しい。
- イ 化石燃料を大量に消費する。
- ウ 発電能力が小さく安定した供給が難しい。
- エ ダムの建設による生態系への影響がある。

(三重県)

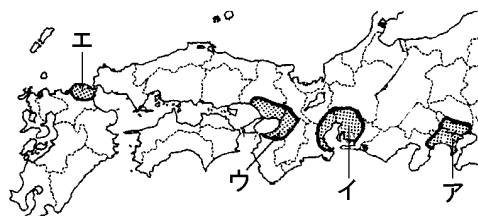
[解答欄]

[解答]ウ

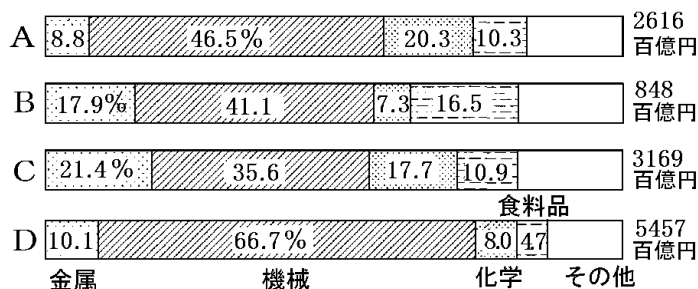
【】工業地帯・地域

【問題】

下のグラフは、地図中のア～エの工業地帯のいずれかの工業製品生産額とその工業別割合を表したものである。イの工業地帯に当たるものを、A～Dから1つ選び、その記号を書け。



主な工業地帯・地域の産業別出荷額割合(2014年)



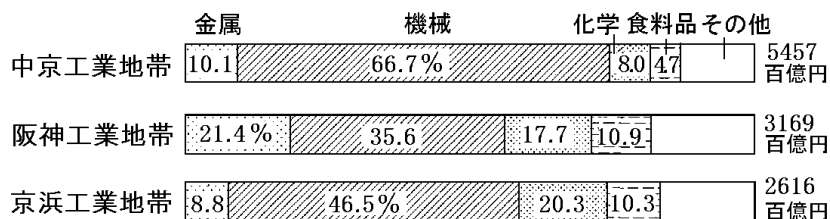
(愛媛県)

【解答欄】

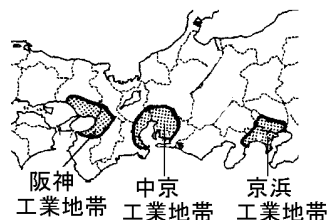
【解答】D

【解説】

主な工業地帯の産業別出荷額割合(2014年)



戦後から1980年半ばまでは、出荷額は、京浜工業地帯・阪神工業地帯・中京工業地帯の順であったが、80年代後半に中京工業地帯が阪神工業地帯を追い抜き、1999年以降は、中京工業地帯は京浜工業地帯を抜いて日本一の工業地帯になった。中京工業地帯の出荷額の伸びをもたらしたのは、豊田市を中心とする自動車の生産である。中京工業地帯の中心である愛知県で、県の工業製品出荷額の4割以上を占めるのは自動車(輸送機械)である。



グラフの A～D のうち、出荷額が一番大きい D が中京工業地帯であるとわかる。また、D のグラフでは機械工業(自動車工業など)のしめる割合が A～C にくらべて大きいことから中京工業地帯と判断できる。

阪神工業地帯は金属のしめる割合が比較的に大きいという特色がある。

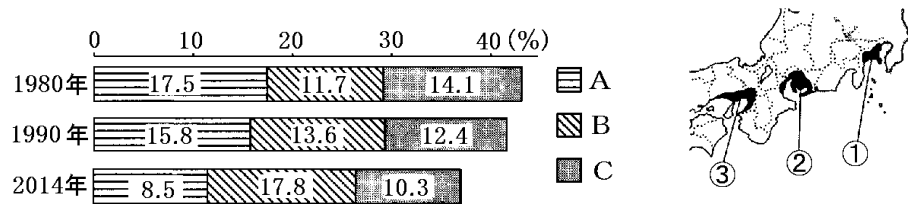
(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P184

[問題]

下のグラフは、全国の工業製品出荷額に占める地図中の①～③の工業地帯の割合の推移を示したものであり、A～Cは①～③のいずれかである。

(1) 工業製品出荷額が全国 1 位(2013 年)の都道府県を含む B の工業地帯の名称を書け。

(2) (1)の地域を①～③から選び、その番号を書け。



(長崎県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 中京工業地帯 (2) ②

[解説]

A は①の京浜工業地帯、 B は②の中京工業地帯、 C は③の阪神工業地帯である。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P184

[問題]

右のグラフは、1960 年と 2013 年における日本の工業別の出荷額の割合を表したものである。グラフ中の a～c には、それぞれ機械、せんい、化学のいずれかがあたる。a

	金属	a	b	食料品	c	その他
1960年	18.8%	25.8	11.8	12.4	12.3	18.9
2014年	14.0%	43.6		15.3	11.6	14.2

1.3

～c それぞれの工業名の組み合わせとして適当なものを、ア～エから 1 つ選び、その記号を書け。

ア a 化学 b 機械 c せんい イ a 機械 b 化学 c せんい

ウ a 化学 b せんい c 機械 エ a 機械 b せんい c 化学


(愛媛県)

[解答欄]

[解答]イ

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P181

[問題]

略地図中の  で示した地域を中心として、沿岸部に連続して立地している臨海工業地域は何とよばれているか。6字で書け。



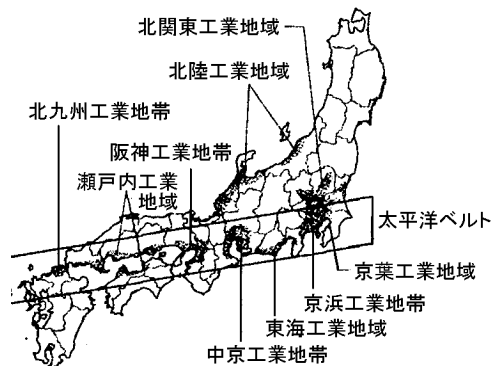
(愛知県)

[解答欄]


[解答]太平洋ベルト

[解説]

日本の工業地帯・地域は原料や燃料の輸入や工業製品の輸出に有利な臨海部に発達している(海上輸送は陸上輸送よりも輸送コストが格段に少ない)。現在の工業地帯・工業地域は太平洋ベルトとよばれ、京浜工業地帯・北関東工業地域・京葉工業地域－東海工業地域－中京工業地帯－阪神工業地帯－瀬戸内工業地域－北九州工業地帯と、臨海部に带状につらなる一帯に集中している。



[問題]

右の資料の  の地域には、工場が集中して立地しているが、その理由を資源に注目して説明せよ。

(福井県)

[解答欄]



[解答]海外から船で原料を輸入するのに便利であり、また製品を輸送するのに便利だから。

[問題]

太平洋ベルトの説明として適切でないものを、次のア～エから1つ選べ。

ア 新幹線や空港，港湾が整備され人や物の移動がさかんである。

イ 臨海工業地域が連なり，わが国の工業の中心である。

ウ 海からの冷却水が得やすく，原子力発電所が集中している。

エ 工業化が進み，人口が集中し，環境汚染や都市問題が起きている。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ウが誤り。原子力発電所が多いのは，若狭湾沿岸，福島県，新潟県など太平洋ベルトの外である。

[問題]

右の地図の○で示した臨海部の埋立地に見られるものを，次の[]から3つ選べ。

[空港 棚田 ダム 製鉄所 火力発電所]

(秋田県)



[解答欄]

[解答]空港，製鉄所，火力発電所

[解説]

○で示した工業地帯の臨海部には，製鉄所，石油化学コンビナートなど重化学工業の工場がある。また，工場や大都市の家庭向けの電気をつくる火力発電所もある。さらに，空港もある。

[問題]

東海道新幹線および山陽新幹線を使って、東京駅から博多駅(福岡市)までを移動すると、太平洋ベルトとよばれる地域にそって、どのような順で日本の主な工業地帯および工業地域を通るか、正しいものを次のア～エから1つ選び、その記号を書け。



- ア 京浜，中京，東海，阪神，瀬戸内，北九州の順に通る。
- イ 京浜，中京，東海，瀬戸内，阪神，北九州の順に通る。
- ウ 京浜，東海，中京，瀬戸内，阪神，北九州の順に通る。
- エ 京浜，東海，中京，阪神，瀬戸内，北九州の順に通る。

(三重県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

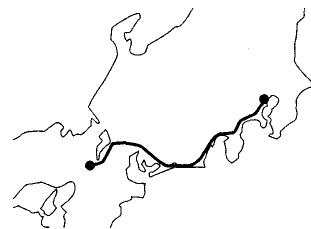
東海道新幹線を利用して、右の資料に示したルートで京都駅から東京駅へ行った。このとき通る工業地帯・地域はどれか、次から2つ選び、通る順に書け。

- [京浜工業地帯 北陸工業地域 中京工業地帯
瀬戸内工業地域]

(京都府)

[解答欄]

[解答]中京工業地帯，京浜工業地帯



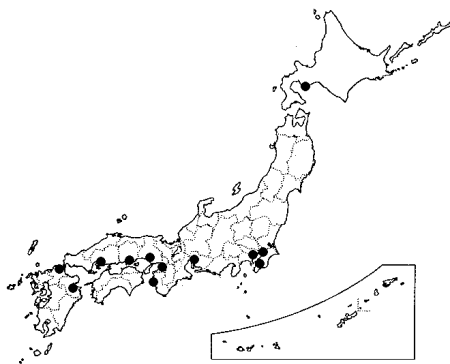
【】 立地条件

[問題]

右の地図の・は、鉄鋼を生産する工場の主な所在地を示している。これらの多くの工場に共通する立地の特徴として、正しいものは次のどれか。

- ア 原料の輸入に便利な港湾付近
- イ 原料の輸入に便利な空港付近
- ウ 国内の原料産地に近い港湾付近
- エ 国内の原料産地に近い空港付近

(長崎県)



[解答欄]

--

[解答]ア

[解説]

鉄鋼業の原料となる鉄鉱石や石炭は海外から輸入されている。価格の割に重い鉄鉱石は船で運ばれる。航空機輸送には向いていない。鉄鋼を生産する工場は、海外からの鉄鉱石・石炭の輸入や製品の輸送に便利な沿岸部に立地している。

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 八幡製鉄所の位置を、地図のア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- (2) 現在の製鉄所はどのような場所につくられているか、その理由を、地図をもとに、簡潔に述べよ。

(宮城県)



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) ア (2) 原料や製品の輸送に有利な臨海部の工業地域につくられている。

[解説]

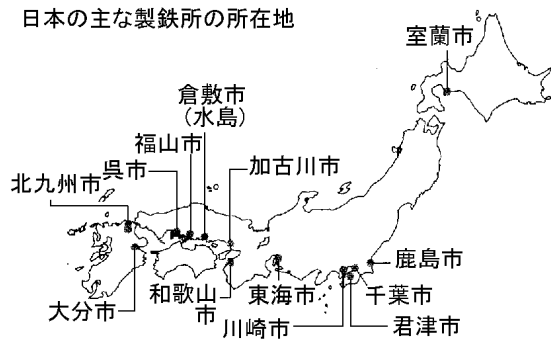
八幡製鉄所は、日清戦争で得た賠償金をもとにして、北九州につくられた。この地が選

ばれたのは、付近に石炭の炭田(かつての筑豊炭田)があり、また、鉄鉱石の輸入先である中国に近かったからである。しかし、戦後、鉄鉱石と石炭の輸入先はオーストラリアなど変わったため、北九州の立地上の優位性はなくなり、消費地に近く、かつ原料の輸入や製品の輸送に便利な他地域の臨海部に新しい製鉄所が作られるようになった。

[問題]

日本のおもな製鉄所は、どのようなところに立地しているか、その理由をふくめて簡潔に書け。

(宮崎県)

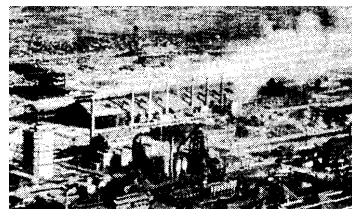


[解答欄]

[解答]海外からの鉄鉱石・石炭の輸入や製品の輸送に便利な沿岸部に立地している。

[問題]

右の資料は、戦後初めて千葉市の埋め立て地に進出した製鉄所の写真である。このように製鉄所や石油化学工場が、東京湾岸などの沿岸部を選んで建てられてきた理由を述べよ。



(宮城県)

[解答欄]

[解答]原料の輸入や製品の輸送に便利だから。

[問題]

兵庫県の化学工業、鉄鋼業や山口県の化学工業、石油製品工業、鉄鋼業の工場は、原料の輸入に便利な()部に多く立地している。

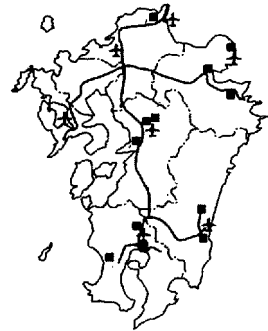
(兵庫県)

[解答欄]

[解答]臨海

[問題]

九州地方には、IC(集積回路)を生産する工場が多くみられる。次の地図中の■は主な IC 工場を、✚は主な空港を、太い線は主な高速道路をそれぞれ示している。IC 工場が地図に示すような場所にみられるのはなぜだと考えられるか。その理由を簡潔に書け。



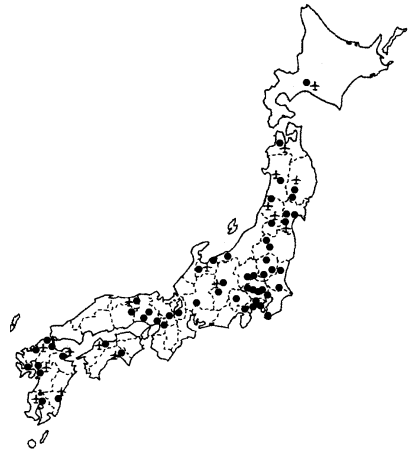
(広島県)

[解答欄]

[解答]IC は価格のわりに小さく軽いため、飛行機や高速道路を使った輸送に適しているから。

[解説]

鉄鋼業などは内陸部には発達しにくい。鉄のように価格の割に重いものは、陸上輸送のコストが大きすぎるために採算がとれなくなるからである。これに対し、ICのように軽量であるわりに値段が高いものは、輸送コストが小さくてすみ、陸上輸送、さらには、航空機による輸送でも、輸送コストの負担は小さい。そのため、ICの工場は、東京周辺のほか、九州や東北地方にも、安い工場用地と豊富な労働力を求めて、空港や高速道路の近くに進出している。



[問題]

電子部品である IC(集積回路)などをつくる工場は、東北各県でも空港や高速道路の近くに多く進出しているが、IC を飛行機や高速道路を使って輸送しても採算がとれる理由を製品の特徴の面から書け。

(兵庫県)

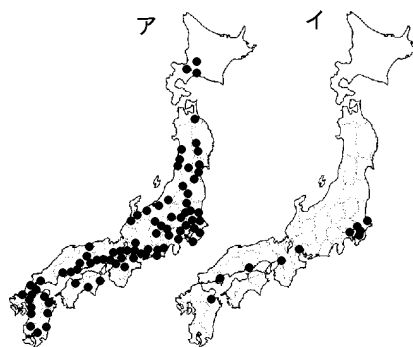
[解答欄]

[解答]小型で軽量であるわりに値段が高いため。

[問題]

右の資料中のア、イは、IC 工場、石油化学工場のいずれかの分布を示している。①石油化学工場の分布を示しているのはどちらか、記号で答えよ。②また、そう判断した理由を、「石油」の語句を使って書け。

(福岡県)



[解答欄]

①

②

[解答]① イ ② 石油化学工場は石油の輸入に便利な臨海部に立地しているから。

[問題]

右の地図の X は、自動車貨物輸送トン数が増えており、工業生産額が伸びている地域である。内陸部のこの地域で工業が発展している理由を、次の語を用いて簡潔に書け。



[整備 製品]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]高速道路などの交通網が整備され、製品の輸送がより容易になったため。

[問題]

現在の日本において、内陸部に立地することも多い工業の種類として最も適当なものを次から1つ選べ。

[石油化学 鉄鋼 造船 食品]

(大分県)

[解答欄]

[解答]食品

[解説]

石油化学，鉄鋼などの工業は，石油や鉄鉱石などの原料を外国から船で輸入するため，臨海部につくられる。

【】 工場の海外進出

[問題]

日本の自動車メーカーは 1980 年代から北米での生産を増やしたが、その背景として最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、その符号を書け。

- ア 南北問題の発生 イ 貿易摩擦の拡大
ウ 自由貿易の推進 エ 冷戦の終結

(石川県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

日本は、工業製品を大量に輸出しながら、相手国からの輸入が少ないため、多くの国に対して輸出超過しやうとになっていた。そのため、相手国の工業が日本製品との競争に敗れて失業問題をおこしたり、相手国が農産品の輸入を増やすよう求めてきたりした。これを貿易摩擦ぼうえきまきさつという。とくに、アメリカとの間では、1960 年代に繊維・鉄鋼・カラーテレビ、70 年代以降は自動車などについて貿易摩擦ぼうえきまきさつがおこった。この問題を少しでも解消する目的で、日本の自動車工場がアメリカに進出し、現地生産を始めた。また、アメリカは農産品の輸入拡大を日本に求め、交渉の末、日本は、牛肉・オレンジ・米などの輸入自由化に踏み切った。

[問題]

多くの日本企業が中国に工場などを進出させている理由を、「生産」「消費」という語を用いて、簡潔に書け。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]中国には、日本に比べ安くて豊富な労働力があるため、企業は生産にかかる費用を引き下げることができるから。また、人口が多く所得も増加しているので消費も大きいから。

[問題]

近年、日本の自動車メーカーはアジアでの生産を増やしているが、その要因として、アジアでの生産費の安さや需要の増加があげられる。それぞれの理由を1つずつ書け。

(石川県)

[解答欄]

(生産費の安さの理由)

(需要の増加の理由)

[解答](生産費の安さの理由)労働者を安い賃金で雇うことができるから。(需要の増加の理由)経済が発展し、高所得層が増加したから。

[問題]

企業が海外に工場や支店を設け、国際的な活動を行うことについて述べた文として誤っているものを、次のアからエまでの中から1つ選んで、そのかな符号を書け。

ア 海外で生産した製品を現地で販売すると、貿易摩擦を起こしたり、為替相場の変動の影響を受けやすくなったりする。

イ 資源や原材料の乏しい日本にとって、資源や原材料を安定的に確保することも海外に進出する目的の1つである。

ウ 日本と比べて労働賃金や物価が安い国に工場をつくることで生産費をおさえることができ、また、現地で販売すれば輸送費もおさえることができる。

エ 進出した国や地域において、生産するのに必要な原材料の供給市場や生産した製品の消費市場を新たに開拓しやすくなる。

(愛知県)

[解答欄]

--

[解答]ア

【】 商業・サービス業

[問題]

小売業やサービス業を含む産業を第何次産業というか。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]第三次産業

[問題]

次のア～ケの中から，第二次産業をすべて選んで記号で答えよ。

ア マグロを捕ってくる。 イ ツナの缶詰をつくる。 ウ ツナのおにぎりを売る。

エ しいたけを採ってくる。 オ 畑でジャガイモを栽培する。

カ 乳牛に牧草を食べさせて牛乳をしぼる。 キ チーズをつくる。

ク チーズケーキを輸出する。 ケ ポテトチップスをつくる。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]イ，キ，ケ

[解説]

アは一次(第一次産業)，イは二次，ウは三次，エは一次，オは一次，カは一次，キは二次，クは三次，ケは二次である。

[問題]

次の各問いに答えよ。

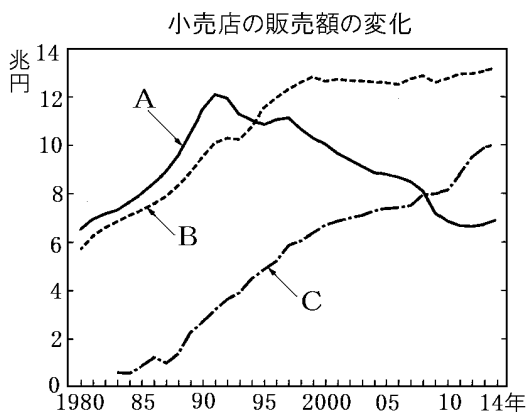
(1) 小売店の販売額の変化のグラフの C にあてはまるものを，次の[]から選べ。

[百貨店 コンビニエンスストア 大型スーパー]

(2) C の販売額がのびている理由を1つ書け。

(3) 通信販売や電子メールのやり取りに利用され，世界各地を結びつけている通信網を何というか。

(補充問題)



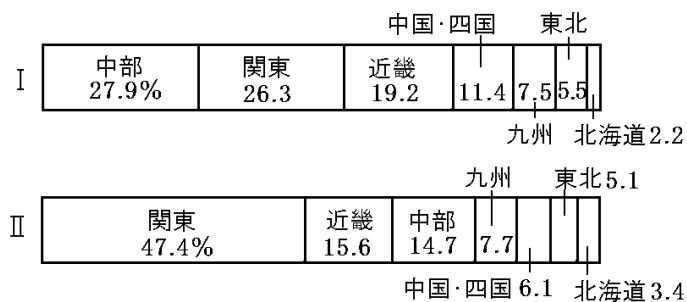
[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) コンビニエンスストア (2) 24 時間営業している。(近くにある。品揃えがよい。) (3) インターネット

[問題]

次のⅠ，Ⅱのグラフは、それぞれ 2014 年における我が国の地方別の、農業生産額の割合、工業製品出荷額の割合、年間商品販売額の割合のうち、いずれかを表したものである。Ⅰ，Ⅱのグラフにそれぞれ当たるものの組み合わせとして適当なものを、ア～エから 1 つ選び、その記号を書け。



- ア：Ⅰ 農業生産額 Ⅱ 年間商品販売額
- イ：Ⅰ 工業製品出荷額 Ⅱ 農業生産額
- ウ：Ⅰ 工業製品出荷額 Ⅱ 年間商品販売額
- エ：Ⅰ 年間商品販売額 Ⅱ 工業製品出荷額

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

農業生産額であれば東北や北海道が上位に来るはずであるので、Ⅰ，Ⅱは工業製品出荷額、年間商品販売額のいずれかである。工業製品出荷額については、日本最大の中京工業地帯がある中部地方が上位に来るので、Ⅰが工業製品出荷額の割合を表していると判断できる。したがって、Ⅱは年間商品販売額の割合を表している。

【】 貿易・交通・通信

【】 貿易

[問題]

右の資料の X は、日本の主要な輸入相手国である。この国について説明したものとして、誤りのものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

ア 国土も広く、人口は世界で最も多い。

イ 最近まで一人っ子政策がとられていた。

ウ ASEAN に加盟している新興工業国である。

エ 日本と平和友好条約を結んでいる。

輸入相手国(%) (2016 年)	
[X]	25.8
アメリカ	11.1
オーストラリア	5.0
韓国	4.1

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

わが国の最大の輸入相手国が中国であることは、デパートやスーパーの衣服、百円ショップの品目の大部分が中国産であることからもうかがえる。ASEAN は東南アジア諸国連合であり中国は加盟していない。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」P301

[問題]

次の表は、アメリカ、イギリス、中国について、それぞれの国の日本への輸出総額の推移と、主要輸出品の輸出額の割合を示したものである。表中の A～C にあてはまる国名を書け。

	日本への輸出総額の推移 (億円)			日本への主要輸出品の輸出額の割合 (単位%)		
	1995 年	2001 年	2016 年	第 1 位	第 2 位	第 3 位
A	35,922	70,267	170,190	機械類(46.2)	衣類(11.2)	金属製品(3.4)
B	7,151	7,290	7,080	機械類(27.7)	自動車(16.0)	医薬品(14.0)
C	75,408	76,715	73,221	機械類(30.5)	航空機(7.2)	医薬品(5.5)

(新潟県)

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A 中国 B イギリス C アメリカ

[解説]

2014 年の輸入相手国順位は、①中国、②アメリカである。したがって、A が中国で C がアメリカで、残りの B はイギリスとわかる。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」P303

[問題]

右の資料の X, Y に入る品目を次からそれぞれ選べ。

[石炭 石油 果実類 機械類 船舶]

(富山県)

[解答欄]

X	Y
---	---

輸出(%)		輸入(%)	
[X]	37.0	[X]	26.0
自動車	16.2	[Y]	10.0
自動車部品	4.9	液化ガス	5.6
鉄鋼	4.1	衣類	4.5
プラスチック	3.2	医薬品	4.2

[解答]X 機械類 Y 石油

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」P290

[問題]

今日、わが国は世界各国から多様な品目を輸入している。そのうち、2014年に輸入した小麦、石炭、自動車について、それらの品目と最大の輸入相手国との組み合わせとして、最も適当なものはどれか。下の表中のア～エのうちから1つ選んで、その記号を書け。

	ア	イ	ウ	エ
小麦	アメリカ合衆国	オーストラリア	オーストラリア	ドイツ
石炭	オーストラリア	アメリカ合衆国	ドイツ	オーストラリア
自動車	ドイツ	ドイツ	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国

(香川県)

[解答欄]

--

[解答]ア

[解説]

輸入品目ごとの最大の輸入相手国(2016年)をあげると、
石油(サウジアラビア)、石炭(オーストラリア)、液化天然ガス(オーストラリア)
鉄鉱石(オーストラリア)、銅鉱(チリ)、アルミニウム(ロシア)、木材(カナダ)

小麦・大豆・とうもろこし・綿花(アメリカ), 肉類(アメリカ), 魚介類(中国), 野菜(中国)
衣類(中国), 自動車・医薬品(ドイツ), 航空機 (アメリカ), 精密機械(アメリカ),
電子部品(台湾)

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P295

[問題]

下の表は、日本が小麦を多く輸入している上位 3 か国について、小麦の日本への輸出
量及び生産量と、主な収穫時期についてまとめたものである。()にあてはまる国
名を書け。

国名	日本への輸出 量(2016年)	総輸出量 (2013年)	生産量 (2014年)	主な収穫時期
アメリカ	2,521 千トン	33,198 千トン	55,147 千トン	6月～8月
カナダ	1,799	16,808	29,281	7月～9月
()	844	18,002	25,303	11月～1月

(大分県)

[解答欄]

[解答]オーストラリア

[解説]

小麦の輸入相手国(2014年)は、①アメリカ(51.8%), ②カナダ(31.2%), ③オーストラリ
ア(16.1%)である。小麦は、北半球では 3～10 月に、南半球にあるオーストラリアでは
11～2月に収穫期を迎える。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P149, P150

[問題]

明子さんは、オーストラリアと日本との貿易について調べたところ、オーストラリア
からの輸入量の多い品目があることがわかった。資料は、そのとき調べたものの一部で
ある。資料の①, ②にあてはまるものを次の[]からそれぞれ 1 つずつ選べ。

(日本におけるある品目の輸入先上位 3 か国) (2016年)

品目(①)		品目(②)	
国名	%	国名	%
アメリカ	46.3	オーストラリア	54.4
カナダ	33.0	ブラジル	30.0
オーストラリア	15.5	カナダ	4.8

[小麦 天然ガス 米 石油 鉄鉱石 とうもろこし]

(山形県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 小麦 ② 鉄鉱石

[解説]

[]の品目の中でアメリカが最大の輸入相手国であるのは、小麦、米、とうもろこしである。米の輸入相手国の第2位以下はタイ、ベトナム、中国などアジアの国が並ぶので、①は米ではない。とうもろこしの輸入はアメリカが8割以上をしめるので、①はとうもろこしでもない。アメリカ・カナダ・オーストラリアの順番になるのは小麦の輸入である。ちなみに、大豆もアメリカからの輸入が63%をしめている。

[]の品目の中でオーストラリアが最大の輸入相手国であるのは、鉄鉱石だけである。鉄鉱石の輸入相手国(2016年)は、①オーストラリア(54.4%)、②ブラジル(30.0%)、③カナダ(4.8%)である。石炭もオーストラリアが第1位である。石炭の輸入相手国(2016年)は、①オーストラリア(64.7%)、②インドネシア(14.6%)、③ロシア(9.0%)、④カナダ(5.6%)である。

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」P295

[問題]

次の表は、オーストラリアに対する日本の輸出入額の上位3品目と総額に占める割合をあらわしている(2016年)。()に入る鉱産資源名を書け。

オーストラリアへの輸出	自動車(44.2%)、機械類(13.7%)、石油製品(13.3%)
オーストラリアからの輸入	()(32.4%)、液化天然ガス(27.7%)、鉄鉱石(13.1%)、

(福島県)

[解答欄]

--

[解答]石炭

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」P308

[問題]

次の表は、魚介類、野菜・果実、アルミニウムの日本の輸入先取引額上位国である。表中の a に当てはまる国を次の[]より 1 つ選べ。

[フィリピン アメリカ合衆国 中国 ロシア オーストラリア]

	魚介類 (2008 年)	野菜・果実 (2008 年)	アルミニウム (2010 年)
1 位	a	a	e
2 位	b	b	c
3 位	c	d	a

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]中国

[解説]

a は中国, b はアメリカ合衆国, c はロシア, d はフィリピン, e はオーストラリアである。

[問題]

図は、2016 年のわが国の衣類の輸入総額に占める国別の割合を示したものである。図中の A 国は、アジアの国であり、1972(昭和 47)年にわが国との国交を回復し、その後、わが国との貿易がさかんになった国である。A 国の国名を書け。

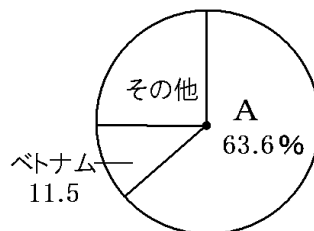
(大阪府)

[解答欄]

[解答]中国

(統計修正)「日本国勢図会 2017/2018」 P295

衣類の輸入先(2016年)



[問題]

日本の工業は、かつて原料の多くを輸入し、工業製品を輸出することを中心に展開されてきた。このような貿易のことを何というか。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]加工貿易

[問題]

加工貿易を、「原料」と「製品」の2つの語句を用い、20字以内で説明せよ。

(長野県)

[解答欄]

--

[解答]原料を輸入して、製品を輸出する貿易。

[解説]

工業の原料や燃料を輸入し、それを加工して、その製品を輸出する貿易のやり方を加工貿易かこうぼうえきという。日本は長い間、加工貿易に依存してきたが、最近では原材料だけでなく、食料品や衣料品、電化製品なども海外から輸入している。

[問題]

次の文の①、②の()内より適語を選べ。

高度経済成長を通じて日本は貿易を拡大し、①(輸出が輸入／輸入が輸出)を上回る貿易黒字が増加した。このためアメリカ合衆国などとの間に貿易摩擦という問題がおき、1980年代、貿易不均衡が拡大すると、この問題は激化した。また世界の自由貿易を拡大するために、1995年に②(WTO／IAEA)という国際機関がつくられた。

(神奈川県)

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 輸出が輸入 ② WTO

[解説]

わが国の最大の輸出相手国はアメリカであるが、長い間、日本の貿易黒字(アメリカの貿易赤字)が続いてきた。アメリカとの間では、1960年代に繊維・鉄鋼・カラーテレビ、70年代以降は自動車などについて貿易摩擦ぼうえきまきがおこった。この問題を少しでも解消する目的で、日本の自動車工場がアメリカに進出し、現地生産を始めた。また、アメリカは農産品の輸入拡大を日本に求め、交渉の末、日本は、牛肉・オレンジ・米などの輸入自由化に踏み切った。

【】 交通・通信

[問題]

近年、航空路線が整備され航空貨物が増えている。下の資料を参考にして航空貨物として輸送されるものの特徴を簡潔に書け。



(佐賀県)

[解答欄]

[解答]ICのように小さく軽量なわりに値段の高いものや、魚介類や生花のように鮮度が大切なもの。

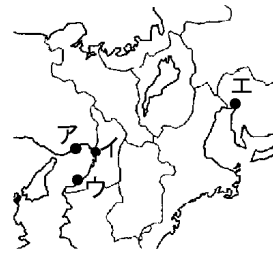
[解説]

ICなどの電子部品の輸送には航空機が使われることが多い。これは、値段の割に軽いため、運賃が高い航空機で輸送しても、価格に占める輸送コストの割合が小さいためである。また、生鮮食料品や花など鮮度を保つためにすばやく輸送することが必要で、値段の高いものも航空機で輸送される。

[問題]

次の各問いに答えよ。

港(空港)	輸出品目	輸入品目
X	IC(集積回路)・半導体 電気回路用品 通信機	医薬品 通信機 IC(集積回路)
Y	自動車 自動車部品 金属加工機械	石油 液化ガス アルミニウム



- 資料の X は、略地図のどの港または空港にあたるか。①ア～エから 1 つ選べ。②また、それを選んだ理由も書け。
- 資料の Y の港がある一帯には、自動車工場やコンビナートをもつ日本有数の工業地帯が広がっている。Y の港の主要貿易品目から考えて、この工業地帯名を書け。

(滋賀県)

[解答欄]

(1)①	②
(2)	

[解答](1)① ウ ② 主要貿易品目が小型で軽量なので航空機での輸送に適しており、空港だと考えられるから。(2) 中京工業地帯

[解説]

略地図のアは神戸港、イは大阪港、ウは関西国際空港、エは名古屋港。Xは主要貿易品目が小型で軽量なIC(集積回路)などで、航空機での輸送に適していることからウの関西国際空港と判断できる。Yは主要輸出品が自動車や自動車部品なので、エの名古屋港と判断できる。名古屋港のある中京工業地帯は、トヨタ自動車の本社・工場があり、自動車工業がさかんである。

[問題]

次の文章中の①～③の()内からそれぞれ適語を選べ。

成田国際空港は日本有数の貿易港である。次の資料は名古屋港と成田国際空港におけるおもな輸出品を示している。この2つの貿易港の輸出品を比較すると、①(成田国際空港/名古屋港)では②(成田国際空港/名古屋港)に比べて、重量が③(重い/軽い)ものが多く取り扱われている。

貿易港名	①	②
おもな輸出品	自動車, 自動車部品	科学光学機器, 集積回路

(佐賀県)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 名古屋港 ② 成田国際空港 ③ 重い

[問題]

次の資料は、関東にある主な貿易港の輸出入額(2015年)を示したものである。Xには、輸出入額の合計が日本で最も大きい貿易港が入る。Xの貿易港の名称を書け。

	輸出	輸入	計
(X)	8兆9104億円	12兆6119億円	21兆5223億円
東京港	6兆2456億円	11兆3662億円	17兆6119億円
横浜港	7兆5311億円	4兆6229億円	12兆1539億円
千葉港	9941億円	3兆5611億円	4兆5552億円

(富山県)

[解答欄]

[解答]成田国際空港

[問題]

自動車による輸送が伸びている理由を、右の資料を参考に簡潔に書け。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]高速道路網の整備が進んだから。

高速道路の整備状況



[問題]

次のア～エは、自動車、鉄道、船、飛行機のいずれかによる輸送の特色について述べたものである。自動車による輸送の特色として適切なものを1つ選び、その記号を書け。

- ア 一度に大量の貨物輸送が可能
- イ 長距離でも短時間での輸送が可能
- ウ 排出ガスを出さない輸送が可能
- エ 積みかえなしでの輸送が可能

(奈良県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

海上輸送は、現在でも重要な輸送機関となっている。海上輸送の特徴を正しく説明したものを、下のア～エの中から1つ選び、記号を書け。

- ア 大量の旅客や貨物を、都市部でも時間に正確に輸送できる。日本では旅客輸送が中心であるが、アメリカ合衆国では主に貨物輸送に利用されている。
- イ 迅速に2地点間を結ぶ輸送手段として発達している。しかし、気象による制約が大きく、運賃が高い。重量物の大量輸送には適さない。
- ウ 重量物を長距離にわたって大量・安価に輸送することができる。国際貿易には欠かせない輸送手段であるが、速度が遅いため、運搬に時間がかかる。
- エ 戸口から戸口への輸送が可能だが、大量輸送には適さない。また、騒音、大気汚染などの環境問題の一因となっている。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

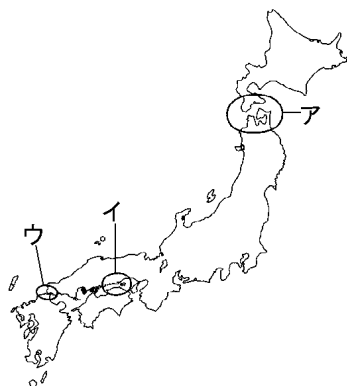
[解説]

アは鉄道、イは航空機、ウは海上、エはトラックによる輸送である。

[問題]

次のA～Cの文は、右の略地図中のア～ウで示した地域のいずれかについて述べたものである。A～Cにあてはまる地域を、ア～ウのうちからそれぞれ1つずつ選び、その記号を書け。

- A かつては、連絡船が兩岸を結ぶ旅客輸送の大動脈となっていたが、近年、道路と鉄道をあわせもつ大きな橋が開通した。
- B 兩岸は日本最初の海底鉄道トンネルで結ばれその後、橋も建設された。現在では新幹線が海峡をって東京まで運行されている。
- C かつては、兩岸は海峡をわたる連絡船で結ばれていた。その後、世界最長の海底トンネルが開通し、鉄道で結ばれた。



(岩手県)

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A イ B ウ C ア

[解説]

Aはイの本州西国連絡橋，Bはウの関門トンネル，Cはアの青函トンネル

[問題]

世界の交通・通信について，次のア～エのうち誤っているものを1つ選び，記号で答えよ。

ア 航空機で輸送される国際貨物には，宅配便のほかにICなどの軽い電子機器がある。

イ 魚介類，生花などは，大型船によって海上輸送される。

ウ インターネットの普及によって，世界各地との情報交換も簡単にできるようになった。

エ 国際的な通信は，通信衛星や海底ケーブルによってささえられている。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

鮮度が要求される品は時間のかかる海上輸送に適さない。

[問題]

現代の世界の交通・通信について述べた文として誤っているものはどれか，ア～エから1つ選べ。

ア 人々の国際間の移動や交流の範囲は広がっている。

イ 航空交通網は地域的な差がなく均等に発達している。

ウ 海上交通は貨物輸送量の上で重要な役割を果たしている。

エ インターネットの普及など，通信の国際化が進んでいる。

(京都府)

[解答欄]

[解答]イ

[印刷/他のPDFファイルについて]

※ このファイルは、FdData 入試社会(16,200 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData入試社会・入試理科全分野のPDFファイル, FdData中間期末(社会・理科・数学)全分野のPDFファイル, および製品版の購入方法は<http://www.fdtex.com/dan/> に掲載しております。

下図のような, [FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を, Windows のデスクトップ上にインストールすれば, FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1800 ページ以上)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら, 【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中, いくつかの警告が出ますが, [実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd教材開発】(092) 404-2266

<http://www.fdtex.com/dat/>